

審判上の確認事項

大会審判委員長

1. 本大会は、2024年度(公財)日本バレーボール協会9人制競技規則及び競技要項に準じて実施する。
2. 試合はすべて3セットマッチ、ワンボールシステムで行う。
3. 公式練習の際は、構成メンバー表にエントリーされた選手とベンチスタッフのみが競技場に入ることができる。
4. タイムアウトの要求は、監督がハンドシグナルを示して要求すること。監督が不在の場合はゲームキャプテンがハンドシグナルを示して要求すること。
5. 選手交代の要求とは、コートに入る準備の出来た交代選手が、選手交代ゾーンに入ることをいう。
この場合、監督またはゲームキャプテンはハンドシグナルを示す必要は無い。
ただし、コート内の選手の負傷や病気による選手交代の場合は、監督（不在の場合はゲームキャプテン）がハンドシグナルを示して要求する。
 - (1) 先発選手は、1セットにつき1回だけ交代して、コートを離れることができる。
また、1セットにつき1回だけ元のサービス順の選手と交代して、コートに戻ることができる。
 - (2) 交代選手は、1セットにつき1回だけ先発選手と交代して試合に出ることができる。
ベンチに戻る場合は、先に交代した先発選手とだけ代わることができる。
6. チームが複数の選手を交代させたいときは、複数の交代選手が同時（時間を空けず）に選手交代ゾーンに入らなければならない。
7. 特殊な事情による試合の中断によりノーカウントとなった場合は、中断したときのサーバーの中断したときのサービス（第1または第2サービス）で再開する。
また、得点を伴わないラリーの中断後は、ラリーが完了していないので、すべての試合中断の要求が認められない。
8. タッチネットの反則となるのは、両アンテナ間のネット（アンテナを含む）に触れた場合である。アンテナ外側のネットに触れても、相手チームの選手のプレーを妨害しない限り反則にならない。
9. 競技参加者による軽度な不法な行為があったばあいは、再発の防止するため、ゲームキャプテンを通して口頭で注意する。
チーム内の2度目の軽度な不法な行為があった場合は、その参加者に対してイエローカードを示し、警告する。
10. 試合中、コートが濡れた場合は、コート内の選手がタオル等を用いてラリー終了後速やかに拭くこと。